



外国文献紹介

急性大動脈解離の疑われた症例の救急部門での治療における MR アンギオグラフィの有用性について

Wang GX et al : MR angiography can guide ED management of suspected acute aortic dissection. Am J Emerg Med 35 : 527-530, 2017

筆者らは、胸部大動脈解離が疑われ救急部門での治療前に MRA 検査が行われた 49 例について検討した。CTA の代わりに MRA が行われた理由は、ヨード系造影剤アレルギーの既往が 21 例（42%）、高度腎不全が 21 例（42%）等であった。MRA 検査の結果、2 例（4%）が急性大動脈解離と診断され、47 例（96%）は解離なしと診断された。また、18 例（37%）の患者は救急部から帰宅したが、在院期間の中央値は 643 分であった。MRA で急性大動脈解離と診断された 2 例および追加の検査が必要とされた 29 例（59%）は入院した。そして、MRA は、救急部で急性胸部大動脈解離が疑われるが CTA が禁忌の症例を診断するうえで有用な手段と考えられると述べている。

瀬戸一彦